

学校経営計画

I 学校経営理念

- 将来に向かって、日本や、地域に貢献できる人材を育成する学校の創造
 - ・社会の一員としての基礎・基本を身に付け、社会に貢献できる人間を育てる場となる学校づくり
 - ・教員が共に学び育ち、働きがいのある職場となる学校づくり
 - ・地域や保護者と協働し、地域ぐるみで高まることのできる学校づくり

II 学校経営基本方針

【学校教育目標】 「認め合い、自分を見つめ、将来を考えながら、力を発揮できる生徒の育成」

- 1, 学級づくりを基盤とした不登校未然防止対策の充実
- 2, 夢や志を育み、将来の自立を目指したキャリア教育の充実
- 3, 学年・学級の枠を越え、確かなつなぎを保障する組織的な学力向上対策の実施
- 4, 学びの場としてふさわしい雰囲気のある教育環境づくり
- 5, アクティブラーニングの手法を生かした生きる力を育む授業改善

III 中期学校経営基本方針

【目指す生徒像】

<認め合い：仲間づくり>

- ・自己と他者の違いに気付き、思いやりや助け合いの心を持つことができる生徒（1年）
- ・他者を認め、相手の気持ちに寄り添うことができる生徒（2年）
- ・自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めることができる生徒（3年）

<自分を見つめ、将来を考える：自己肯定感とつながり>

- ・自分のよさや個性を知り、将来に対する夢や憧れを抱くことのできる生徒（1年）
- ・自分の個性や能力を生かし、学校での学びと将来との関わりを自覚できる生徒（2年）
- ・希望を持ち、現実と目標達成の困難を理解し、課題解決に向け最後まで努力できる生徒（3年）

<力を発揮する：生き抜く力>

- ・他者との関わりを大切にしながら、自力解決や集団解決のできる生徒（1年）
- ・他者との関わりを大切にしながら、仲間とともに課題解決できる生徒（2年）
- ・他者との関わりを大切にしながら、練り合い互いに高まることのできる生徒（3年）

【目指す教師像】

- (1) 生徒や保護者に寄り添い、粘り強く関わり続ける教職員
- (2) 生徒や保護者と信頼関係を築き、情熱をもって教育実践に取り組む教職員
- (3) 常に高いレベルの教育をめざして、資質向上に取り組む教職員

<基本方針実現のための方策>

- ・「授業改善プラン」「授業づくりのスタンダード」の具現化とアクティブラーニングの手法を活かした授業改善
- ・5教科タテ持ち、技能教科部会を中心とした、基礎基本の定着と学力・体力の向上
- ・生徒指導の三機能を意識した教育活動（予防的生徒指導と開発的生徒指導）
- ・「学力向上部」「キャリア教育部」「仲間づくり部」の三部会の実践研究の強化
- ・道徳教育、人権教育の強化及びキャリア教育の推進
- ・ボランティア活動など、地域に貢献できる生徒の育成
- ・教職員組織のスタッフ機能とライン機能の確立
- ・縦割り清掃活動、日常的な挨拶、教育環境の整備等の望ましい教育環境づくりの構築
- ・部活動の取組を日常生活に活かす